

『東日本大震災について考え、 私たちにできることを提案しよう』

目標

- 自分の考え方や経験を相手に分かりやすく伝え、他者の意見に傾聴する力を身に付ける。
- ペアやグループで他者と共に学ぶ体験を通じて、相互理解を深める。
- 東日本大震災と人権について考え、問題を分析する力を養う。
- 人権の保障された社会づくりを目指して、一人ひとりができることを考え、行動に移していく。

活動内容

1. (個人学習) 東日本大震災の被害について自身で調べ、一番重要だと思う課題について考える。
2. (ペアで) 順番に、自身の意見を相手に説明する。
3. (グループで) 4～5人のグループになって意見を交換し、共通・相違する点を話しあう。そしてグループで、特に重要と思う問題を絞り(必ずしも1つでなくてもよい)、そこから、自分たちでできる解決策を考え、『アクション・プラン』を考える。グループで30分のプレゼンテーションにまとめる。
4. (発表会)グループで発表を行い、聞いているグループは、発表者を相互評価しながら、互いに建設的なコメントを伝える。(レビューシートの活用)

条件

- 個人発表ではなくグループでの発表のため、メンバー全員で役割分担をし、全員が発表に関わること。
- 自身の経験について語りたくない場合は、身近な他者について語ってもよい。クラス内で聞いた話はクラス内にとどめ、外では漏らさない。但し、クラス内で学んだことは外で実行に移していく。
- 発表は参加型になるように、聞いているグループを巻き込んでインタラクティブになるよう工夫すること。発表時間には、Q&Aセッションを含む。

自己・相互評価シート

	とても良い	良い	改善の余地あり	改善すべき点が多い
東日本大震災と人権という点から十分な分析がなされ、分かりやすく説明されているか(選択回答)				
解決策は具体的で、実現可能なものであるか(選択回答)				
根拠に基づいて、十分な説明ができているか(選択回答)				
発表の方法や表現に工夫が見られるか(選択回答)				
建設的なコメント ※よかった点、改善すべき点を、最低でも3つ以上記述してください。 (自由記述)				